

第18回若手の集いを終えて

実行委員長 鈴木 祐麻*

日本海水学会第69年会が開催される前日の平成30年6月6日、18時から千葉駅近くの居酒屋で第18回若手の集いが開催されました。私の記憶が正しければ当日の天気予報は大雨だったにも関わらず、いざ蓋を開けてみればパラパラ小雨が降る程度。これは合計33名の参加者の日頃の行いの良さが神様に認められた結果と解釈しております。前回の第17回若手の集いは山中真也先生（室蘭工業大学）が実行委員長となり京都鴨川の納涼床で開催されました。それに比べると千葉駅前にあるビルの地下にある居酒屋での開催となった今回はやや魅力に欠けるなあ…参加者15名とかなったらどうしよう…と心配しておりましたが、実際は33名と前回よりやや少ないものの沢山の方に参加していただきました。参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。楽しげに交流を深めている皆様の様子（写真1）を見ていると、今回の集いが大成功であることを確信しました。さらに、参加者の皆様が京都か千葉とか、あるいは納涼床か居酒屋とかで参加・不参加を決めているのではなく、若手会が好きで参加して下さっているのだと感じ、若手会のファンとしてとてもうれしくなりました。あ、念のために言っておきますが千葉県民の皆様、千葉県に魅力を感じないとは言っておりませんので誤解しないでください。ね。チーバ君、落花生、ノンメタポーク、千葉都市モノレール、その他にもいろいろ…私は昔から千葉県のことが大好きです。今回で一層好きになりました。

集いは当学会副会長であり前年会の実行委員長の松本道明先生（同志社大学）のご挨拶、そして当学会参与であり長年若手会をご支援してくださっている東郷育郎様（サンアクティス）の乾杯のご挨拶から始まりました。その後、若手会の発展にこれまで尽力されてきた方々に感謝するとともに、これからの若手会のあり方を議論しました。海水学会のイベントに参加するのは今回の若手の集いが初めてという参加者も数名おられ、在籍年数・年代・職種を超えた交流が活発に行



写真1 集いの様子

われました。最後に、歯医者さんの直後ということでお酒が飲めないにも関わらず参加して下さった当学会副会長の上ノ山周先生（横浜国立大学）に締めのご挨拶をしていただき一次会を締めくくりました。一次会の後には二次会、三次会？まであったようで、最後まで残っていたグループの交流が終了したのは日付も変わった三時頃であったと聞いております。私も平均を大きく下回る歌唱力であるにも関わらず何曲も歌わせていただき、次の日は喉がガラガラでした。

今回の若手の集いにおいても、日本海水学会の皆様をはじめ多くの方のご支援を頂きました。若手会会員の皆様、特に（公財）塩事業センター海水総合研究所の中村様および峯尾様には実施にあたり多岐に渡るサポートをいただきました。深く御礼申し上げます。

今年度に行う今後の若手会主催のイベントは「第5回海水・生活・化学連携シンポジウム」と「第10回学生研究発表会」となります。第5回海水・生活・化学連携シンポジウムは10月25日（木）～26日（金）に宮城県石巻市の石巻専修大学と石巻市立石巻小学校で開催する予定です。また、第10回となる記念すべき学生研究発表会は平成31年3月7日（木）～9日（土）に長崎県佐世保市で開催する予定です。詳細は本号および次号の会告をご覧ください。多くの方のご参加をお待ちしております。今後も若手会をよろしくお願ひ致します。

* 山口大学（〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1）
TEL：0836-85-9690, E-mail：tsuzuki@yamaguchi-u.ac.jp